

川崎区 障害者地域自立支援協議会 年間活動報告

<川崎区について（平成24年12月末現在）>

人口	:	217,337人
障害者手帳の取得数	:	身体障害者手帳 7,016人
		療育手帳（判定のみの方も含む） 1,364人
		精神障害者保健福祉手帳 1,307人

<川崎区自立支援協議会の特徴>

- ① 川崎区は市内の区の中で一番面積が広く保健福祉センターと2つの支所があり、事業所も多い為、多数の構成員で形成されています。
- ② 月に1回の協議会を開催しています。その他に各グループでの活動を行い、協議会を盛り上げています。

<今年度の目標と方向性>

1. 昨年度の振り返りから、部会活動を中心に行っていきます。
 - ① 災害対策部会 <目標> 地域から川崎市への提言づくり。
当事者より、災害に対しての不安あり、取り組めないかという意見がでました。
 - ② 入浴部会 <目標> 家以外の入浴の場所を確保する
「入浴」に関する取り組みについて、引き続き行い、なんらかの形にしたいとの意見があり、今年度も引き続き活動を行うことになりました。
 - ③ 広報部会 <目標> 協議会の存在の周知。着実に実績を残していく。
田島養護学校から、卒業後のこと、生活支援センターの事、成年後見制度の事など、情報がほしいとの希望あり、自立支援協議会で取り組むことになりました。
2. 事前アンケートより、構成員が参加しやすい第2火曜日に変更し、活発な活動が出来るよう目指します。

<今年度の区全体会議>

第1回 4月18日(水) 13:30~15:45 川崎区役所

自己紹介、自立支援協議会の体制の確認
平成24年度の区全体会議の活動について
部会3つ（広報・入浴・災害）の提案。所属希望の確認

第2回 5月8日(火) 14:00~16:30 南部身体障害者福祉会館

小グループ活動（入浴・広報・災害対策部会）年間計画・部会長・目標設定
課題整理表の検討「独居の障害者の医療行為における同意書について」
事務局会議報告

第3回 6月12日(火) 14:00~16:30 南部身体障害者福祉会館

小グループ活動

- ・広報部会（かわさき市民祭り不参加、養護学校保護者向け説明会の実施について、地域の事業者向け、区全体会議の報告会の開催について）
 - ・災害対策部会（地域の災害対策における課題の検討）
 - ・入浴部会（近隣の入浴実施事業所の見学先決定、見学時の質問内容の整備）
- 事例検討「聴覚・視覚障害者と認知症母との生活における支援について」
事務局会議報告（摘録参照）

第4回 7月10日（火）14：00～16：30 南部身体障害者福祉会館

小グループ活動

- ・広報部会…協議会パンフレット作成で、対象者を誰に絞るかの検討、内容は、活動紹介や入浴課題への取り組み・相談支援事業所の利用ガイド。田島養護学校での講演会は、テーマは成年後見制度について。
- ・災害対策部会…地域や事業所、行政レベルでの災害直後における課題抽出。福祉避難所についての意見交換
- ・入浴部会…区外3事業所の見学報告。区での展開について。

運営会議報告

第5回 8月7日（火）14：00～16：30 南部身体障害者福祉会館

小グループ活動

- ・広報部会…協議会パンフレット作成。田島養護学校での講演会は、テーマは成年後見制度について。10月中旬以降で検討。
 - ・災害対策部会…「事前準備・避難場所・情報伝達・障害者への初期対応チームの構築」についての課題抽出
 - ・入浴部会今年度・これまでの見学・調査についての報告書の作成について
- 事務局会議報告

田島養護学校校舎移転のお知らせ

第6回 9月11日（火）14：00～16：30 南部身体障害者福祉会館

小グループ活動

- ・広報部会…協議会パンフレット作成。田島養護学校での講演会 [テーマ]成年後見制度について。
- ・災害対策部会…横浜市保土ヶ谷区地域自立支援協議会・地域作業所等連絡会の防災マニュアル等の資料を参考に話し合いを進行。避難訓練や、備蓄等について確認する。
- ・入浴部会…現状の制度の中に組み込める提案を思考する。

他都市状況を参考に新しいサービスの形を提案

事例検討…手帳未取得の方のケース検討

富山方式 DVD鑑賞

事務局会議報告

第7回 10月9日(火) 14:00~16:30 南部身体障害者福祉会館

小グループ活動

- ・広報部会…田島養護学校での講習会10月16日10:30~12:00
パンフレット印刷予定
- ・災害対策部会…横浜市保土ヶ谷区の防災マニュアルを参考に川崎区独自の作成を目指す
- ・入浴部会…現行制度にプラスアルファする形での制度提言をまとめていく。

事務局会議報告

連絡会議(当事者シンポジウム)について

第8回 11月13日(火) 14:00~16:30 南部身体障害者福祉会館

運営会議報告

連絡会議 当事者参加の取り組み発表の確認

地域包括支援センターとの意見交換会

- ・高齢者虐待防止法の概要 大島中島地域包括 工藤氏
- ・障害者虐待防止法の概要 障害計画課 滝口氏
- ・3グループに分かれてグループワーク

第9回 12月11日(火) 14:00~16:30 南部身体障害者福祉会館

事務局会議報告

高次脳機能障害 研修 れいんぼう川崎 黒川氏、浦田氏

- ・高次脳機能障害とはどういうものか?脳挫傷による症状とその対応方法、
認知症と高次脳機能障害の相違点など具体例を含め講義

小グループ活動

- ・広報部会…田島養護学校講習会実施後の感想アンケートとりまとめ
パンフレットの活用について2月23日盲人図書館祭りに置く予定。
- ・災害部会…情報伝達のための自助のツールを検討
- ・入浴部会…経過をまとめていく。

第10回 1月15日(火) 14:00~16:30 南部身体障害者福祉会館

事務局会議報告

あおぞら共生会主催のセミナーについて

自立支援協議会のあり方について

小グループ活動

- ・広報部会…川崎区自立支援協議会ホームページ作成について
各区の活動状況の共有化をねらいとする。24年度の活動内容を掲載。
- ・災害部会…これまでの活動から8項目の提言をまとめる。
- ・入浴部会…課題解決に向けて検討。

第11回 2月12日(火) 14:00~16:30 南部身体障害者福祉会館

事務局会議報告

連絡会議（防災シンポジウム）報告

小グループ活動（広報部会、災害部会、入浴部会）

・それぞれの部会でまとめを行い、発表

第12回 3月12日（火） 14:00～16:30 南部身体障害者福祉会館

事務局会議報告

年間振り返り

次年度にむけて

<部会での取り組み報告>

①広報部会

川崎区自立支援協議会の広報活動として、平成24年度は以下の通り活動を行いました。

1. パンフレットの見直し

川崎区自立支援協議会のパンフレットを作り直し、田島養護学校の保護者に配布しました。平成25年度から支援センターの再編に伴い、内容を改定したうえで、各福祉施設や地域のイベントに置かせてもらえるように活動します。

2. 講習会の開催

田島養護学校の保護者に向けて、福祉制度の周知、自立支援協議会が地域に寄与していくことを目的として成年後見制度の講習会を企画、開催しました。川崎市あんしんセンターの中山氏を講師に迎え、丁寧でわかりやすい説明をしていただきました。出席者からは、卒業後の生活における福祉サービスの利用手続きを伺いたいなど、積極的な意見をいただき、次年度以降の活動の参考にします。

3. ホームページの作成

平成24年度の活動内容の紹介、報告を内容としたホームページが作成途上にあります。

②災害対策部会

昨年度の当事者のお話を受けて、今年度は災害対策部会を立ち上げました。目的はいつ起こるかかわからない災害時の備えを今から意識して準備していくこと、そのために今年度の目標として、東日本大震災当時わたしたちが体験したことを整理しました。

部会ではまず震災時大変だったこと、困ったこと、心配だったこと、またあって良かったことなどそれぞれが出し合い、課題別に整理していく作業をしました。他の地域で実践されている防災モデルなども、参考にしました。混沌としてしまいそうでしたが、課題整理の作業を、まず災害直後からの課題を短期的・中長期的なスパンの視点と、自助・共助・公助の視点で見えていきました。

来年度に向けて

防災に関する意見交換会に取り組みます。初期対応チームの組織、避難訓練、事業所や利用者へのアンケート徴収の実施に協議会として取り組みます。来年度も継続して活動を希望します。

③入浴部会

平成22年度の課題整理により、学齢時の家庭での入浴（訪問入浴も利用できない）事例

から生まれたこの部会。今年度で3年目の取り組みとなります。平成23年度には、アンケートも実施し、他にも困っている方がいる、という現状を踏まえ、通所していなくても自宅でなく入浴のサービスをうけられないか、ということで取り組みました。

1.川崎市内、近隣都市でのサービスの見学

- ・ ロンド（日中短期入所・日中一時支援）・ 横浜らいず(横浜市地域生活支援事業)・ ファームランドながお（生活介護）

2.川崎区内で取り組めそうなサービスの検討

- ・ 既存の施設の活用…現状入浴加算は400円。加算が増えることで、職員を増やすなど。
- ・ 制度の活用…「施設入浴サービス（横浜市地域生活支援事業）」川崎市にもできないか。
- ・ 入浴に特化した施設の設置
- ・ 訪問入浴の制度を自宅以外でも利用できないか（通所先や公共施設の利用プラス送迎サービス）

3.来年度にむけて

平成22年度に課題としてあがった当事者（児童）については、今年度卒業しますが、解決したわけではありません。また児童の問題は入浴だけでなく、放課後支援の不足、ショートステイの不足など多岐にわたっています。次年度は、入浴だけでなく、包括的に考える部会（児童部会）にしたいという意見があがりました。

<次年度はこんなことをします！…あるいはこんなことしたいな～>

部会活動について

- ・ 抽出された課題を解決する場としての活動、協議会の目標や組織の根本とリンクする活動がしたい。

ネットワークづくりについて

- ・ 他分野（高齢、ボランティア団体、当事者団体など）とのネットワークづくりをしたい。

課題整理について

- ・ 課題整理票の活用、困難事例検討の場になるとよい、より深い課題抽出の機会がほしい。

その他

- ・ オブザーバー的な人が何人かいるといいのではないか。
- ・ 区の特性を踏まえたユニークな取り組みがしたい。

幸区障害者地域自立支援協議会

<幸区について（平成24年12月末現在）>

人口	:	157,148人
障害者手帳の取得者数	:	身体障害者手帳 4,754人
		療育手帳（判定のみの方は含まず）907人
		精神保健福祉手帳 977人

<幸区自立支援協議会の特徴>

- ① ワーキングチームを作り構成員の役割を明確にすることで、活動を活性化させます。
- ② ライフステージごとに切れ目の無い支援を行なうために、各関係機関との連携を深めます。

<今年度の目標と方向性>

- ① 連携部会…地域や関係機関との連携を円滑にするために、活動の報告や、自主製品の展示、情報交換の場の確保を行います。また、切れ目の無い支援を行なう為に、特別支援学校や地域包括との連携を深めます。
- ② 広報部会…広報誌の発行、地域のイベントや区役所内での作品展示を行い、地域の方に障害者福祉・自立支援協議会の啓発活動を行います。
- ③ 当事者部会…協議会への当事者参加を具体的に進め、地域生活での課題を共有し、解決に向けて話し合いを行います。また、昨年度のアナケート実施であった「余暇の充実」の課題を元に、幸区内のおススメスポットを掲載した「さいわいウォーカー」の作成を進めます。
- ④ 課題整理部会…課題整理表を活用し、定期的に地域生活での課題を共有し、解決に向けた話し合いを行います。また、昨年度の課題整理表であった、「成人期のナイトケア」についてニーズ調査、傾向の分析を進めていきます。

<今年度の区全体会議>

- 第1回** 4月17日（火）14：00～17：00 御幸日中活動センターにて
各事業所の担当自己紹介と事業所紹介
今年度の自立支援協議会について
- ・ 今年度の年間予定
 - ・ 部会の設置（①連携部会 ②広報部会 ③当事者部会 ④課題整理部会）
- 第2回** 5月22日（火）15：00～17：00 御幸日中活動センターにて
各種会議の報告
部会より今後の予定について報告
- ・ 連携部会：民生委員、社協との連携、地域包括との情報交換の実施

特別支援学校保護者への説明会

- ・ 広報部会：広報誌（さいわいジャンプ）の発行、日吉まつりへの参加、区役所内の自主製品展示
- ・ 当事者部会：実際に参加する当事者候補5名決定
- ・ 課題整理部会：定期的に課題整理や事例検討の実施を予定
ナイトケアの課題に対し、ニーズ調査、アンケートの実施

第3回 6月19日（火）15：00～17：00 御幸日中活動センターにて

各種会議の報告

- ・ 連携部会：民生委員へのアンケート検討、特別支援学校から出張研修の依頼
- ・ 広報部会：広報誌（さいわいジャンプ）完成 各機関に配布
- ・ 当事者部会：幸区を中心としたお出かけマップ「さいわいウォーカー」作成
6月25日（月）第1回当事者部会開催 顔合わせ・今後の動き確認
アンケートを各通所施設に配布
- ・ 課題整理部会：ナイトケアアンケート（事業所向け）完成、事例検討1件実施

第4回 7月17日（火）15：00～17：00 御幸日中活動センターにて

各種会議の報告

- ・ 連携部会：民生委員との連携に向けてアンケート実施（協力できる部分の模索）
- ・ 当事者部会：アンケートの回収、さいわいウォーカーのコンセプト決定
- ・ 課題整理部会：アンケートの回収、積算の資料の作成

第5回 8月21日（火）15：00～17：00 御幸日中活動センターにて

各種会議の報告

ワタミタクシヨク株式会社の方よりチラシ封入作業の受託事業所の募集
→「つくし」「セルプきたかせ」「みゆき作業所」「白楊園」で受託（10月末終了）
ショートステイの課題について検討

- ①幸区内にショートステイ機能を持った施設が存在しない。
 - ②川崎南部から北部への移動・送迎の問題がある。
 - ③緊急での利用がメインとなっており、レスパイトでは利用できていない。
 - ④グループホーム、ケアホームの不足が、ショートステイの課題にもつながる。
- ・ 連携部会：幸区社会福祉協議会との連携の日程が決定、民生委員向けのアンケート作成
 - ・ 当事者部会：8月23日（木）第2回当事者部会開催
 - ・ 課題整理部会：ナイトケアについての企画書作成

第6回 9月18日（火）15：00～17：00 御幸日中活動センターにて

各種会議の報告

幸区社会福祉協議会との連携実施

- ①幸区社会福祉協議会の障害者支援関連事業について
- ②民生委員との関わりについて

③質疑応答

- ・ 連携部会：田島養護学校の家庭教育学級との連携について日程決定
- ・ 広報部会：区内障害者施設の作品展示を実施。広報誌の配布。
- ・ 当事者部会：9月27日（木）川崎方面の取材開始

第7回 10月23日（火）15：00～17：00 御幸日中活動センターにて
各種会議の報告

- ・ 連携部会：民生委員へのアンケート配布（年内回収）地域包括支援センターとの日程調整
- ・ 広報部会：日吉まつり参加の準備、11月18日（日）実施予定
- ・ 当事者部会：10月18日（木）南加瀬方面の取材実施
- ・ 課題整理部会：ナイトケアについて当事者へのニーズ調査、事例検討1件実施

第8回 11月20日（火）15：00～17：00 御幸日中活動センターにて
各種会議の報告

障害計画課よりホームページ立ち上げについて説明

協議会の在り方に関する意見集約表について話し合いを実施。

- ・ 連携部会：1月15日（火）地域包括支援センターと意見交換会を実施予定。
12月18日（火）家庭教育学級との連携（話の内容を詰める）
 - ・ 当事者部会：11月1日（木）取材のまとめ、連絡会に向けた話し合い実施。
- ☆ 11月18日（日）日吉まつりに出店。自主製品の販売やさいわいジャンプの配布などの広報活動を実施。
- ☆ 11月14日（水）川崎市障害者地域自立支援協議会 連絡会議に当事者部会のメンバーである大屋一郎さんが参加し、自身の想いを発表。

第9回 12月18日（火）15：00～17：00 御幸日中活動センターにて
各種会議の報告

年度のまとめについて、活動報告についての役割分担。

- ・ 連携部会：田島養護学校保護者への説明会について報告。
地域包括支援センターとの意見交換会のプログラム決定。
- ・ 今後について：課題整理や当事者からの聴き取りをまとめ、来年度にどうつなげるか話し合いを実施。
- ・ 課題整理部会：事例検討1件実施。

☆ 12月18日（火）田島養護学校の家庭教育学級と連携し、田島養護学校保護者を対象とした説明会を実施。

- ①自立支援協議会の取り組みについて
- ②平成25年度の相談支援体制について
- ③福祉サービスを活用した事例について

第10回 1月15日（火）14：30～17：00 御幸日中活動センターにて
各種会議の報告

福祉避難所について 川崎市幸区保健福祉サービス課佐藤課長より説明

来年度の向けて 新体制となる4月に向けて引き継ぎを含めた下地作りを検討。

- ・ 課題整理部会：障害者虐待防止に関するコアメンバー会議、ケース会議のメンバーについて、役割分担の必要性について検討
- ・ 当事者部会：1月18日（金）来年度に向けた話し合い。年間報告のまとめ

☆ 1月15日（火）高齢者&障害者支援分野意見交流会を実施。

①来年度の川崎市における相談支援体制について

②相談支援事業委託先法人について

③障害者虐待防止法について

第11回 2月12日（火）15：00～17：00 御幸日中活動センターにて

各種会議の報告

年間活動報告書について（幸区・川崎市）

来年度に向けて

- ・ 広報部会：さいわいジャンプのバージョンアップを検討。（相談支援体制の変化に伴う、相談支援事業所の連絡先を入れる等）
- ・ 連携部会：社会福祉協議会を交えた、民生委員との連携を検討。
- ・ 当事者部会：来年度の部会の在り方について検討。広報部会との連携を検討。
- ・ 課題整理部会：ナイトケアについてアンケート完成。（3月中に配布予定）
来年度、アンケートを回収し、実現性の模索、検討を行う。

<具体的な取り組み内容>

- ① 連携部会：昨年度に引き続き、特別支援学校や地域包括支援センターとの連携に力を入れました。田島養護学校の保護者向けに出張研修の実施、地域包括支援センターとの意見交換では「障害者虐待防止法」の施行に伴い、障害者虐待と高齢者虐待の対応について等の意見交換を行いました。また、今年度は地域との関わりがより深い民生委員へのアンケートを実施しました。「災害時の対応を知りたい」という意見、「要援護者がいるのはわかるが対応が分からないので研修を実施してほしい」といった貴重な意見が見られました。
- ② 広報部会：自立支援協議会を地域に知ってもらう為に、広報活動を行ないました。
 - ①福祉の関係機関への広報：・ 広報誌を発行し送付・ 自主製品の区役所内展示を実施
 - ②地域への広報：・ 幸区自立支援協議会として日吉まつりに参加、広報誌の配布
・ 自主製品の区役所内展示を実施
- ③ 当事者部会：今年度から当事者部会を立ち上げ、実際に5名の当事者に協議会へ参加してもらいました。昨年実施したアンケートの中に、「ふらっと1人で外出できる場所がないか」といった声があがっていたため、幸区に特化したお出かけマップ「さいわ

いウォーカー」の作成に当事者の方に関わっていただきました。当初は緊張感があったものの、慣れてくると、メンバーからの声もたくさん上がるようになっていました。

- ④ 課題整理部会：昨年度の課題整理表であがった、「成人期のナイトケア」について潜在的なニーズの調査、運営上の課題を検討しました。その中で、単独事業所としての運営の難しさ、送迎面の課題が表面化しました。また、ニーズの調査、傾向の分析を行うために、通所施設を対象としたアンケートの作成を行いました。

<次年度はこんなことします！…あるいはこんなことしたいな～>

- ① 連携部会：今年度実施した、地域包括支援センターとの連携、特別支援学校との連携を引き続き実施します。また、民生委員へのアンケートであがった意見をもとに、社会福祉協議会を交えて民生委員との連携を図りたいと考えています。
- ② 広報部会：地域や関係機関との連携をより円滑にする為に、引き続き活動報告や自主製品の展示、情報交換の場の確保を行ないたいです。また、今年度立ち上がった、川崎市のホームページを活用し、広報活動をすることで幸区障害者地域自立支援協議会の周知につなげていきます。合わせて、来年度から相談支援の体制が大きく変わる中で、幸区の相談支援事業所がわかるように、一昨年作成したさいわいジャンプのバージョンアップを検討していきます。
- ③ 当事者部会：今年度は、部会として実際に当事者の方が協議会に参加する体制ができあがりました。当事者の声を直接聞くことができる部会になったことは、今年度の大きな成果だったように思います。当事者の方が抱えている生活のしずらさなど「当事者の想い」を声に出していただき、住みやすい地域づくりに向けて進んでいく部会であり続けたいと考えています。当事者部会は「当事者中心の部会」を目指していますが、実際、自立支援協議会を知らない当事者も多く、まずは、協議会を知っていただくための広報活動を実施したいです。また、来年度は、広報部会と連携し、広報紙として地域で生活する当事者の方々の声を生かし、生の声を発信できる機会を増やしていけたらと考えています。
- ④ 課題整理部会：今年度は課題整理における事例検討が定期的には実施できませんでした。自立支援協議会では、課題整理表であがってきた意見を地域の課題として捉え、各構成員が様々な立場から検討を行う場であると考えられるため、来年度は、年間を通して事例検討を実施し、施設のサビ管などにも足を運んでもらえるような機会も設定できたらと考えています。また、ナイトケアについて、アンケート回収後はニーズや課題を分析し、実現に向けて模索していけたらと考えています。

(文責：広瀬 潤)

幸区障害者地域自立支援協議会 構成員

	所属	氏名
1	障害者生活支援センター こぶし	住舎 泰子
2		広瀬 潤
3	幸区役所保健福祉サービス課 障害者支援係	浅谷 初穂
4		因泥 智子
5	障害者相談支援事業所 つくし	酒井 路子
6	地域生活支援センター りっぷる	吉澤 美香
7	障害者生活支援センター きたかせ	青柳 誠一郎
8		熊澤 真美
9	中部身体障害者福祉会館 障害者生活支援センター	猪野田 丈裕
10	御幸日中活動センター	西岡 秀樹
11	川崎ふれあいの会	牧野田 恵美子
12	ライフパートナーさいわい	松井 慶治
13	南部地域療育センター	高野 真悟
14	市立田島養護学校	田中 雄三
15	県立中原養護学校	千葉 綾子
16	県立鶴見養護学校	大関 進也
17	精神保健福祉センター	川上 賢太
18	障害者更生相談所	石原 朝美
19		藤原 美和

中原区障害者地域自立支援協議会



<中原区について（平成24年12月末現在）>

人口	:	236,662人
障害者手帳の取得者数	:	身体障害者手帳 4,787人
		療育手帳（判定のみの方含む） 985人
		精神障害者保健福祉手帳 1,088人

<中原区自立支援協議会の特徴>

- ① 保健福祉センターと相談支援事業所を中心に、障害福祉サービス提供事業所、教育機関、日常生活自立支援事業、法人後見受託法人、当事者と構成員も多岐になっています。
- ② 月1回の全体会議にむけて、保健福祉センター・基幹型相談支援事業所による事務局会議、事務局と地域型相談支援事業所による全体会議準備会を毎月実施しています。
- ③ 川崎市リハビリテーション福祉・医療センターがあり、公的機関・事業所が多い一方、再編整備による民間法人等の指定管理受託で、今後も変化が予想されます。

<今年度の目標と方向性>

- ① 個別のニーズや課題を集め、制度や地域として共通する課題の抽出と整理をしていく。
- ② 共通の課題については、何故生じているのか、その課題に対して現在はどうに支援・対応しているのかの実情を共有し、検証する。
- ③ 中・長期的に協議会として調査活動や検証等が必要と整理した特定の課題として、地域社会からの理解や啓発、新たな社会資源の開発・改善に係る協議への推進の一助を担えるよう、今年度はまちづくり部会・地域移行部会・児童部会を設置し検証していく。

<今年度の区全体会議と専門部会>

- 第1回 【全体会議】 4月20日（金）14:00~17:00 中原区役所**
各事業所の担当自己紹介と事業所紹介
今年度の中原区障害者地域自立支援協議会について
① 自立支援協議会とは ② 昨年度までの取り組みと年間予定についての検討
「誰もが暮らしやすいまちづくりのためのニーズ調査」報告
- 第2回 【全体会議】 5月20日（金）15:00~17:00 サン・ライヴ**
今年度の中原区障害者地域自立支援協議会について
① 今年度取り上げる課題の選出について
（構成員からの課題整理表をもとに検討）
「地域に向けた広報・渉外活動」担当毎での年間計画と方針の策定
「平成23年度中原区障害者地域自立支援協議会のまとめ」冊子について

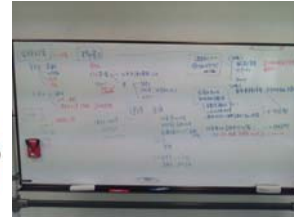
- 第1回 【専門部会】** 6月15日(金) 14:00~17:00 サン・ライヴ 他
まちづくり部会・地域移行部会・児童部会
上記ごとで設定。年間での取り組み内容と目標を策定。
- 第3回 【全体会議】** 7月20日(金) 14:00~17:00 サン・ライヴ
課題整理表の検討(構成員から提出された複数の課題をもとに検討)
「地域に向けた広報・渉外活動」各担当者からの進捗状況の報告
- 第2回 【専門部会】** 8月17日(金) 14:00~17:00 他 中原区役所
まちづくり部会・地域移行部会・児童部会
上記ごとで設定。年間での取り組み内容をもとに実施。
- 第4回 【全体会議】** 9月21日(金) 14:00~17:00 サン・ライヴ
専門部会、渉外・広報活動に関する中間報告
中原区の課題について
～ 課題整理表のカテゴリー整理を経ての区での検討 ～
なかはらファミリー第3回目のあつまり。報告
なかはら福祉健康まつりについて
- 第3回 【専門部会】** 10月19日(金) 14:00~17:00 中原区役所
まちづくり部会・地域移行部会・児童部会
上記ごとで設定。年間での取り組み内容をもとに実施。
- 第5回 【全体会議】** 11月16日(金) 14:00~17:00 サン・ライヴ
課題整理表についての協議と意見交換
なかはら福祉健康まつりについて
- 第4回 【専門部会】** 12月21日(金) 14:00~17:00 中原区役所
まちづくり部会・地域移行部会・児童部会
上記ごとで設定。年間での取り組み内容をもとに実施。
- 第6回 【全体会議】** 1月18日(金) 14:00~15:00 福祉パルなかはら
専門部会、渉外・広報活動に関する進捗状況報告
なかはらファミリー第4回目のあつまり。案内
次年度の自立支援協議会のあり方についての協議
(川崎市自立支援協議会の報告をもとに)
- 第5回 【専門部会】** 1月18日(金) 15:00~17:00 福祉パルなかはら
まちづくり部会・地域移行部会・児童部会
上記ごとで設定。公開報告会の最終準備。
- 第7回 【全体会議】** 2月15日(金) 14:00~15:00 サン・ライヴ
公開報告会のまとめと部会報告
中原区としての課題整理表のまとめ
渉外・広報活動の協議
次年度に向けてのアンケート集計結果を受けての協議。



第8回 【全体会議】 3月15日（金）14:00～15:00 中原区役所

次年度に向けての方向性（案）の確認と協議

年度まとめの冊子（案）について



<具体的な取り組み内容>

① 中原区の課題について

年度の初めに、構成員から課題整理票を募りました。5月の区全体会議において、①独居者の終末期、②入院時移送、③当事者参加、④通院支援、⑤家庭支援、⑥送迎、⑦在宅、⑧発達障害、⑨不動産、⑩高齢分野、⑪医療・司法との連携、⑫成年後見制度の12項目があがってきました。その課題整理票の内容をもとにカテゴリー分けして、7月区全体会議で協議を図り、再度意見を集約しました。そのなかから高等部卒業後の進路・在宅者の居場所について、医療と福祉・教育の連携の2つの課題に絞り、9月・11月区全体会議において、共有と情報交換も兼ねて再度協議を図りました。

高等部卒業後の進路・在宅者の居場所について

発達障害・重複障害・在宅状態の方の日中活動先がなかなか決まらないという課題に対しては、構成員からの日中活動先に関する情報提供・情報交換を経て、訪問級で対応していた方の、卒業後の（日中）対応先はないものかという意見、学齢期は訪問による支援・引きこもり状態解消の支援が行われているが、成人期に入った時に個々の活動リズムに合わせた（通所）支援の設定が、通所事業所でできているのか。非定型の通所利用（週5日通所でない）の方の対応の現状・課題点は何か？日中活動先の定着支援は、相談支援先か通所先か？精神障害の方向けにデイケア・ナイトケアがあるが、知的障害の重複の方には馴染まないことが多い様子もある。精神・知的重複の方の、夕～夜と土日の居場所ニーズはあるだろうか。どんな形がいいのか？先駆的・試行的取り組みは可能か。市策への提言につながるか？

医療と福祉・教育の連携



重複障害を持つ生徒の通院を安定的に支援したい。親が高齢や障害者、日本語が不自由な外国の方などの場合、症状や相談を医師に適切に伝えたり、医師からの指示や質問の伝達に独自の支援が必要な事例が出てきている。福祉サービス場面において、福祉職側が医療職・看護師に求めたいことと、専門職であるがゆえに看護師等ができないことのズレ部分をどうしていったらいいかについては、今年度の児童部会の調査などを参考にしながら、改めて検討・討議を深めていきたいテーマ。精神科入院、重複障害の方たちの入院受け入れの難しさについては、全体的認識としては不足。事例検討などで認識を深めていくこと、また福祉ニーズのある方の入退院、支援の課題については、医療側（MSW）からの情報収集の場の設定などが区自立支援協議会の取り組みとして、まずはできることではないか。

入院時（たいていは緊急対応）の対応はどうしているかについてや、通院時の医師～当事者のコミュニケーション支援の工夫事例をもう少し構成員から広く出してはどうか。ケアホームでの工夫なども相談支援先から出せないか。関連機関のやり方はどうか。地域包括ではどうしているか？病院の地域連携室等は、転院時にどのように対応しているか。この辺りをもう少し検証することは区自立支援協議会でもできることではないか。

② 部会としての取り組み



まちづくり部会

平成22年度に課題として取り組んだテーマの進捗状況をもとに、継続的に検証し取り組むことを目的に部会設置をしました。

地域の方向けアンケートとして、武蔵小杉駅（JR南武線・東急線）に対して、障害のある人と関わった時に対応に困ったこと、わからないこと等の調査を行いました。また、平成23年度に取り組んだ当事者向けに実施した「誰もが暮らしやすいまちづくりのためのニーズ調査」の集計結果をもとに再集計及び検証を重ねました。当事者の「利用を避けている」という現状の声のアピール方法の工夫として、直接交通機関にアンケートをするよりは、まず街の声としてタウン誌等へ紹介する方法、区社協の小学生向け夏休みの街探検などでのテーマに挙げてもらうことはどうかといった案が出ました。また、継続的な当事者の声の聞き取りや対応方法の検討や周知の必要性を改めて認識しました。

地域移行部会

平成23年度に区全体会議でテーマとして取り上げ、2回シリーズで行った〔地域移行に関する課題〕に関して、継続的に検証し取り組むことを目的に部会設置をしました。住み慣れた街での生活を過ごしている方の例からうまくいっている共通項についてや気付いたことについてを検証しました。入院や施設の入所期間が短い方は、退院・退所した後の生活イメージがわきやすく、現実的な希望として目標をもちやすいことがありながらも、介護支援専門員や病院の地域連携室の相談員との連携の難しさ、お互いの業務内容の理解の不十分さもあること、また退院・退所する方へのアセスメントはどのようにしているのか？どのように障害福祉に携わる支援者が地域移行を支援しているのかのフィードバックをしていないのではないかとということに気づきました。

児童部会

平成23年度に区全体会議でテーマとして取り上げ、2回シリーズで行った〔児童期の地域生活支援について〕に関して、継続的に検証し取り組むことを目的に部会設置をしました。まずは、中原区障害者地域自立支援協議会構成員から、児童期支援の抱える課題を課題整理表にて出してもらいました。その中でも今年度は、①医療的ケア、②こども支援室との連携、③障害児相談支援事業に取り組む課題として設定しました。そのなかでも医療的ケアの必要な子どもへの支

援として、ライフステージの変化における医療面の引き継ぎに関する課題から「生活介護事業所における看護師業務及び医療的ケアに関するアンケート」として、市内生活介護事業所56か所へ郵送によるアンケート調査を実施しました（回収率57%）。看護師配置についてや医療的ケア対応の人数や内容について、ケアマニュアルや研修体系、看護師業務における課題や意見等について伺いました。

③ 渉外・広報

公開報告会 「暮らす」を考える：1月28日



川崎市内の障害者地域自立支援協議会構成員、中原区内関係機関及び一般市民向けに、中原区障害者地域自立支援協議会の部会報告を中心に取り組み内容の発表を行いました。取り組んだ成果のご報告とともに、来場者から意見をいただき、今後の取り組みについて一緒に深める場となりました。

なかはら福祉健康まつり：11月17日

中原区障害者地域自立支援協議会のブースを設置し、自立支援協議会に関するクイズに答えてくれた人へのわたがし提供、自立支援協議会のポケットティッシュ配布とアンケートの回答協力を求めました。なかはらファミリー当事者とともに行っています。

中原区自立支援協議会パンフレット

構成員の変化や伝えたい内容の整理をして改訂版を作成し、配布しました。

なかはらファミリー：9月8日、2月2日

（平成22年度に課題として取り組んだテーマの進捗状況をもとに継続的に実施）当事者主体のあつまりとして、当事者代表でも月1回程度の打ち合わせを重ねており、自立支援協議会としては活動の後方支援をしています。



＜次年度はこんなことします！…あるいはこんなことしたいな～＞

- ① 今年度設定した「まちづくり部会」「地域移行部会」「児童部会」については、次年度、公開報告会でのご意見もふまえながら継続的に取り組んでいくとともに、当事者や障害児の親とも協働出来る形で取り組んでいきたいと考えています。
- ② 今年度初の取り組みとして行った公開報告会は、次年度も継続して実施するとともに、部会での取り組みの過程におけるアンケート結果内容や、なかはらファミリーでの当事者の声を大切に、有効な機会を見つけて地域にお住まいの方や該当する担当部署に伝えていくことができるようにします。当事者の声も反映しつつ、より当事者の暮らしにくさや要望が課題としてあがりやすい体制とするにはどうすればいいか…等、一歩ずつでも成果を出せる形を作っていきたいです。
- ③ 公開報告会を発端として、地域包括支援センターとのネットワークがやっとできそうな見通しがついたので、自立支援協議会へ参画してもらうだけでは終わらずに高齢分野と協働で、次年度中に何か形を残せる取り組みができるといいな！！（文責：大場 幸）

高津区 障害者地域自立支援協議会

<高津区自立支援協議会の特徴>

- ① 相談支援事業所と保健福祉センターを中心に、構成員は22名となっております。月1回の全体会議にむけて、事務局会議（準備会）を実施しています。全体会議の流れは、各種会議の報告及び課題の検討、個別支援経過報告（事例発表）、各グループの取り組みとなっております。必要に応じて、グループの検討の場面を設定しています。
- ② 各グループの取り組みは、3グループに分かれていて、相談支援・課題整理・ボランティアとなっております。それぞれのグループが中・長期的な目標に向かって、鼎立しています。

<今年度の目標と方向性>

- ① まず、中・長期的な目標に向かって、2年目の取り組みを、具体的な活動を発信できる年度と捉えています。また、講演会を実施し、地域に対する宣伝活動も実施します。
- ② 個別支援経過報告（事例発表）は、毎月実施します。年間スケジュールの従い、各構成メンバーが提出できるように配慮します。
- ③ 各グループの動きが不透明にならないように、定期的な報告を実施します。各グループの取り組みで、他グループとの連携が必要な場面では、協力を依頼する体制作りを行います。あくまでも5年後の身近な地域である高津区を創造しながら、進めていきます。
- ④ 必要に応じて、基幹型相談支援事業所と保健福祉センターで緊急の会議も実施します。

<今年度の区全体会議>

第1回 4月24日（火）13:30～17:00 高津区役所にて

- ◎新メンバー紹介（県立高津養護学校）及びメンバーの自己紹介
- ◎高津区障害者地域自立支援協議会の機能と活動内容について確認
- ◎市障害者地域自立支援協議会事務局会議報告及び新体制についての確認
- ◎障害者虐待防止法施行に向けた講演会の企画についての検討
- ◎各グループの取り組み（①相談支援 ②課題整理 ③ボランティア）

第2回 5月22日（火）13:30～17:00 高津区役所にて

- ◎各種会議等報告（①市事務局会議②高津区まちづくり協議会③虐待防止研修）
- ◎障害者虐待防止法施行に向けた講演会の企画についての検討
- ◎課題整理表検討（施設入所支援が決定された方が、日中もセットと言われた件）
- ◎各グループの取り組み（①相談支援 ②課題整理 ③ボランティア）

- 第3回** 6月26日(火) 13:30~17:00 高津区役所にて
- ◎各種会議等報告(①市運営会議②講演会講師との打ち合わせ③障害計画課説明)
 - ◎課題整理内容検討(施設入所支援と生活介護)
 - ◎講演会のスケジュール等について
 - ◎個別支援経過報告(体重増加で引きこもりの知的障害在宅ケース)
 - ◎各グループの取り組み(①相談支援 ②課題整理 ③ボランティア)
- 第4回** 7月24日(火) 13:30~17:00 高津区役所にて
- ◎各種会議報告
 - ◎検討事項①(虐待防止法研修会の役割分担。8/16(木)高津区役所で開催)②(ケアマネ連絡会との交流会について。10/23(火)予定。)③(H25年度体制に向けて、今から利用計画書作成は区割りにした方が良いのではないか)
 - ◎個別支援経過報告(20代男性、知的ケース。週末の過ごし方について)
 - ◎各グループの取り組み(①相談支援 ②課題整理 ③ボランティア)
- 第5回** 8月28日(火) 13:30~17:00 高津区役所にて
- ◎各種会議報告(事務局会議)
 - ◎検討事項(障害計画課の説明 H25体制に向けて区割りの必要があるのではないか)
 - ◎確認事項①(9/27(木)初任者研修でボランティア講座の取り組みについて発表)②(療育を考える会シンポジウムで協議会説明)③(12月高津区まちづくり協議会の講演会または交流会(テーマ:障害者共にくらすまちづくり)に参加)
 - ◎講演会のアンケート確認と反省
 - ◎個別支援経過報告(40代男性、知的。就労系事業所に通所希望だが、寝坊、ニーズが数日で変わる等の為、支援方法について検討中)
- 第6回** 9月25日(火) 13:30~17:00 高津区役所にて
- ◎各種会議報告(事務局会議/まちづくり協議会の12月懇談会の参加について11月市連絡会議の内容/他、各種セミナー開催のお知らせ)
 - ◎確認事項(10月協議会 ケアマネ連絡会との交流会の内容について)
 - ◎個別支援経過報告(40代男性。身体知的の重複。母と妹と同居)環境改善の必要を感じるが、家族、本人とも困り感がなく、自発的な訴えない中、本人の意向をどう引き出し、サービスに繋げて行くか。
 - ◎各グループの取り組み(①相談支援 ②課題整理 ③ボランティア)
- 第7回** 10月23日(火) 13:30~17:00 高津区役所にて
- ◎高津区介護支援専門員連絡会 定例会との合同学習会
 - ・障害者自立支援法と介護保険法のサービスについて
 - ・支援経過紹介(67歳。障害サービスから介護保険サービスへの移行)

と連携の経緯)

- ・グループ毎の検討。意見交換 ・質疑応答

◎各グループの取り組み(①相談支援 ②課題整理 ③ボランティア)

第8回 11月27日(火) 13:30~17:00 高津区役所にて

◎障害福祉課、養護学校教諭から、卒業生の進路の現況について話しを聞く。

◎市の協議会アンケートについて、区の意見を取りまとめる。

◎課題整理表の検討。高津区在住の知的ケースについて。

◎各グループの取り組み(①相談支援 ②課題整理 ③ボランティア)

第9回 12月25日(火) 13:30~17:00 高津区役所にて

◎まちづくり協議会報告

◎事務局会議報告

◎くらし部会報告

◎ボランティア講座終了報告

◎支援経過報告

◎各グループの取り組み(①相談支援 ②課題整理 ③ボランティア)

第10回 1月22日(火) 13:30~17:00 高津区役所にて

◎事務局会議報告

◎連絡会議報告

◎支援経過報告

◎各グループの取り組み(①相談支援 ②課題整理 ③ボランティア)

◎2月26日(火)の各グループの取り組み報告会に向けての準備

第11回 2月26日(火) 13:30~17:00 高津区役所にて

◎事務局会議報告

◎各相談支援センターについて

◎各グループの取り組み報告会

<今年度のその他の活動>

◎主催事業

- ・講演会「みんなで知ろう!!!障害者虐待防止法」

講師：東洋大学教授 高山直樹氏 アドバイザー：赤塚光子氏

平成24年8月16日(木)14:00~16:30 高津区役所5階

◎共催事業

- ・高津区社会福祉協議会主催講座「ボランティア養成講座」

平成24年11月~12月随時 高津区内の日中活動事業所及び区役所

- ・高津区まちづくり協議会主催交流会「障害者とともに暮らす街づくり」

平成24年12月12日(水)13:30~16:00 高津区役所5階

宮前区障害者地域自立支援協議会

＜宮前区について（平成 24 年 12 月末現在）＞

人口：222,120人
障害者手帳の取得者数：身体障害者手帳 4,984人
療育手帳（判定のみの方は含まず）1,213人
精神保健福祉手帳 1,279人

＜宮前区障害者地域自立支援協議会の特徴＞

- ① 保健福祉センターと相談支援事業所等を事務局とし、当事者の方、障害福祉サービス提供事業所、養護学校、療育センター、まちづくり協議会、社協、と構成員が多岐にわたっています。現在、構成員は33名となっています。
- ② 検討課題を各部会に分けて役割を明確にすることで活動を活発化させ、月1回の全体会で報告し情報を共有しています。
- ③ 全体会にむけて、保健福祉センター・精神保健福祉センター・基幹型相談支援事業所・地域型相談支援事業所による事務局会議を月1回開催しています。

＜今年度の目標と方向性＞

- ・全体会では、日ごろの業務の中で感じる課題などの情報共有、情報交換を行える場所となるよう内容の工夫をしていきます。また、会議をより有意義にしていくために勉強会や研修も企画していきます。
- ・部会での活動については、昨年度と引き続き課題を検討していきます。各部会の目標は下記のとおり。

○重度障害・高齢部会

昨年度の高齢部会と重度障害部会を一つの重度障害・高齢部会としました。

- ・介護保険通所施設への移行が難しい方が、どのような事に困っているかを把握するため、区内の65歳以上の障害者の方々の実態調査を行いたいと考えています。また、60歳程度の障害者手帳取得している方に、65歳からの介護保険サービス移行について当事者の方のご希望等を聞ければと考えています。
- ・介護保険サービス従事者や地域住民が、障害がわからないために支援の連携が行いにくい事や不安があることから、地域包括支援センターとの継続した交流会や研修・広報・交流部会と連携し、障害に対する啓発を目的にした広報活動を実施していきます。

○児童部会

児童の関係機関と連携をとれるよう研修会等を実施していきます。昨年度出てきた課題として「サービス情報の提供の不足」があったので、養護学校や特別支援コーディネーターとの連携を模索していきます。

○研修・広報・交流部会

下記の検討をしていきます。

- ・障害者の住まいについての研修会
- ・広報の仕方についてのマニュアル作り
- ・交流会の継続企画
- ・「ほっととらいあんぐる」の編集
- ・障害者サポーター事業に関する検討
- ・相談支援事業の認知度を高める^{こほうかつどう}広報活動

<今年度の区全体会議>

- 第1回 4月12日(木) 13:30~17:00
- ① 各事業所あいさつ、新規加入事業所の紹介、今年度について
 - ② 全体会の年度計画
 - ③ 活動報告(れいんぼう川崎)
 - ④ その他(地域包括との交流会について)
 - ⑤ 各部会の打ち合わせ
- 第2回 5月10日(木) 13:30~17:00
- ① 各部会の打ち合わせ
 - ② 各部会からの報告
 - ③ 活動報告(らいむらいと)
 - ④ その他
- 第3回 6月7日(木) 13:30~17:00
- ① 各部会の打ちあわせ
 - ② 各部会からの報告
 - ③ 講演会報告集について
 - ④ 事務局会議報告
 - ⑤ その他
- 第4回 7月5日(木) 13:30~17:00
- ① 各部会打ち合わせ
 - ② 各部会からの報告
 - ③ 活動報告(支援センターながお)
 - ④ 運営会議報告
 - ⑤ 「制度の移り変わり、今後の流れについて」(講師:赤塚光子氏)
- 第5回 8月2日(木) 13:30~17:00
- ① 各部会の打ち合わせ
 - ② 高齢者虐待について(地域ケア連絡会セイワ田邊氏、富士見プラザ伊藤氏)
 - ③ 部会報告
 - ④ 事務協会議報告
- 第6回 9月6日(木) 13:30~17:00
- ① 各部会打ち合わせ
 - ② 部会報告
 - ③ 活動報告(らぼおる)
 - ④ 高齢者虐待についての感想等

- ⑤ 事務局会議報告
- 第7回 10月4日(木) 13:30~17:00
- ① 各部会打ち合わせ
 - ② 部会報告
 - ③ 活動報告(精神保健福祉センター)
 - ④ 事務局会議報告
- 第8回 11月1日(木) 13:30~17:00
- ① 各部会打ち合わせ
 - ② 活動報告(オリオン)
 - ③ 運営会議報告
 - ④ 宮前区民祭参加についての報告
- 第9回 12月6日(木) 13:30~17:00
- ① 各部会打ち合わせ
 - ② 部会報告
 - ③ 連絡会議・事務局会議報告
 - ④ 障害者虐待防止法について(障害計画課滝口氏)
- 第10回 1月10日(木) 13:30~17:00
- ① 各部会打ち合わせ
 - ② 部会報告
 - ③ 運営会議等報告
- 第11回 2月7日(木) 13:30~17:00
- ① 各部会打ち合わせ
 - ② 部会報告
 - ③ 事務局会議報告
 - ④ 相談支援事業所の再編について
- 第12回 3月7日(木) 13:30~17:00
- ① 各部会打ち合わせ
 - ② 部会報告
 - ③ 平成24年度自立支援協議会まとめ
 - ④ 事務局会議報告
 - ⑤ 児童部会報告会について

<今年度のその他の活動>

- ① 平成 24 年 8 月 1 日（金）
 - ・市内特別支援学校・特別支援学級夏期公開研修にて部会員が講師となり、「教育と福祉の連携」をテーマに、障害児が使えるサービスなどの話をした。
- ② 平成 24 年 10 月 21 日（日）9：00～15：00
 - ・宮前区民祭へ「なんでも相談会」として出店
 - 区内の障害者生活支援センター職員、児童関係サービス事業所職員、西部療育センター職員がなんでも相談を受け付けました。
 - 相談件数は 2 件でした。
- ③ 平成 24 年 12 月 3 日（月）
 - ・宮前区自立支援協議会企画「地域交流会」
 - 相談支援事業所（精神・身体・知的）が相談支援した当事者の方と一緒に支援の内容を報告。
 - また、西部療育センターより事業紹介。
- ④ 平成 25 年 3 月 15 日（金）13：00～15：00
 - ・福祉講座「地域で共に暮らすために」
 - 障がいを持った方が地域で暮らすということについて①一人暮らしをしている当事者の方の話②相談支援事業所の話③行政から制度や、市内のケアホーム・グループホームの現状について④ケアホーム・グループホームを運営している社会福祉法人同愛会の実践報告
- ⑤ 広報誌「ほっととらいあんぐる」の発行

<具体的な取り組み内容>

○全体会

- ・相談支援事業所を中心に、日ごろの支援について報告する機会として「活動報告」の時間を設け、みなさんの意見をいただきました。
- ・制度の流れと障害者総合支援法の概要について赤塚先生をお招きし勉強しました。
- ・障害者虐待防止法施行に伴い、高齢者虐待と障害者虐待について勉強会を開催しました。

○重度障害・高齢部会

部会の中で、出てきた課題をもとに、高齢期を迎えてどのような変化が起きてきているか、どのような支援が必要になってきているかなど、生活の状況について、日中施設を対象に実態調査を行いました。

○児童部会

8月1日に、市内特別支援学校・特別支援学級夏期公開研修に部会員が講師として参加し、「教育と福祉」というテーマでお話しをしました。また、宮前区内の方が困った時に相談できる機関などを紹介する「こどもの発達に心配なとき」ガイドブックの作成を開始しました。今年度は、0歳児～3歳児を対象にして作りました。

○広報研修交流部会

自立支援協議会や宮前区の相談機関の認知度を高める目的として、宮前区民祭に参加し「なんでも相談会」を行いました。

地域交流会を開催し、当事者の方と相談支援員と一緒に支援の内容や宮前区内の事業所紹介をしました。地域でくらすことをテーマに福祉講座を開催しました。

自立支援協議会の広報のため、ほっととらいあぐるを発行しました。

<次年度はこんなことします！…あるいはこんなことしたいな～>

○重度障害・高齢部会

- ・課題が多数出てきているので、部会内でワーキンググループを作り検討の機会を増やしていきます。
- ・今年度の実態調査でみえてきた課題に対する先駆的取り組み事例の紹介など、区内施設が新たな試みを始める上での情報提供や研修会などを開催したいと思います。

○児童部会

- ・具体的な不安の解消に向けて、家族を対象として勉強会の開催を検討します。
- ・今年度に引き続き、教育関係者との連携を充実させていく。
- ・今年度に引き続き、ガイドブックの作成を行います。
- ・地域講演会への委員の参加を検討します。

○広報研修交流部会

- ・今年度に引き続き、「地域でくらす」をテーマにして研修や交流会、ほっととらいあぐるの発行などをします。広報の仕方などを工夫し、より多くの方に来ていただけるような企画としていきます。
- ・今年度に引き続き、障害者サポーターの内容、宮前区地域福祉計画に提起する方法等を検討していきます。

宮前区障害者地域自立支援協議会 構成員

	所属	氏名
1	川崎市身体障害者協会	石山春平
2	川崎市精神障害者連絡会	大窪俊夫
3	いぬくら	阿部千鶴子
4	しらはた	梅木澄子
5	トゥーランプラン	五十嵐一明（※兼任）
6	長尾けやきの里	長嶋季伸
7	なごみ福祉会	渡邊のり子
8	みずき	平木眞利子
9	みずさわ	平野宏卓
10	みのり会	山中淳子
11	宮前ハンズ	五十嵐一明（※兼任）
12	宮前ふれあいの家	松浦悦子
13	らぼおる	大森裕子
14	まちづくり協議会	新安裕美子
15	まちづくり協議会	小林はるみ
16	麻生養護学校	西田悦己
17	高津養護学校	坂井優里
18	市立養護学校	関口陽子
19	宮前区社会福祉協議会	兵藤美幸
20	西部地域療育センター	藤本明國
21	地域ケア連絡会議	田邊夕里
22	川崎市精神保健福祉センター	山田麻貴
23	更生相談所	
24	地域生活支援センターオリオン	五十嵐一明（※兼任）
25	障害者生活支援センターながお	西坂恵里
26	れいんぼう川崎障害者生活支援センター	浦田健司
27	れいんぼう川崎障害者生活支援センター	藍澤温代
28	障害者生活支援センターらいむらいと	船井幸子
29	障害者生活支援センターらいむらいと	中古翠
30	宮前保健福祉センター障害支援係	上田鐘子
31	宮前保健福祉センター障害支援係	鈴木健人
32	宮前保健福祉センター障害支援係	伊藤朋也

多摩区障害者地域自立支援協議会

<多摩区について（平成25年2月末現在）>

人口		213,651人
障害者手帳の取得者数	:	
	身体障害者手帳	4,592人
	療育手帳	1,072人
	精神保健福祉手帳	1,239人

<多摩区自立支援協議会の特徴>

- ① 昨年度に引き続き、今年度も5名の当事者と3名の家族の方が全体会議と部会に参加し活動しています。
- ② 当事者を含め、各構成員が課題整理表に基づいたテーマ別に5つの部会に分かれて活動し、その活動内容を月1回行われる全体会で共有しました。

<今年度の目標と方向性>

今年度は「地域の人とつながりをつくる」を、協議会全体のスローガンとしました。「地域の人」とのつながりには、具体的な対象や目的が必要と考え、各部会の中で検討を行うこととなりました。

部会活動について、昨年度は課題整理部会、日中活動部会、ライフサイクル部会、災害対策部会の4部会を設置していましたが、今年度は昨年度全体会議で検討を行った就労について、更なる検討が必要との考えに至ったことから、新たに就労部会を設置し、5部会体制で課題に取り組むことになりました。

また、今年度は前記のとおり、当事者の再募集を実施しました。

・各部会の今年度の目標

- ① 課題整理部会
「グループホーム・ケアホームに関する課題の検討」
- ② 日中活動部会
「軽度知的障害者の余暇についての検討、及び日中活動に関する検討」
- ③ ライフサイクル部会
「つなぎ（児童～成人～高齢期）やサービスについて取り組む」
- ④ 災害対策部会
「自助・共助に関する検討、及び施策や社会資源の調査」
- ⑤ 就労部会
「就労についての視点の共有化」

<今年度の区全体会議>

第1回 4月 3日（火）13:30～16:30 多摩区役所

今年度の自立支援協議会について

- ① 各事業所の担当自己紹介
- ② 参加部会の確認
- ③ 各部会顔合わせと話し合い

第2回 5月1日(火) 13:30~16:30 多摩区役所

- ① 川崎市地域自立支援協議会の説明
- ② 各部会の報告
- ③ 自立支援協議会研修会のアンケートを実施

第3回 6月 7日(火) 13:30~16:30 多摩区役所

- ① 各部会の報告
- ② 川崎市地域自立支援協議会報告
- ③ 研修会について

地域移行関係、支援センターの再編について検討

第4回 7月 3日(火) 13:30~16:30 KFJ 多摩

- ① 各部会の報告
- ② 研修 「受け入れる地域側の視点」がテーマ
- ③ 作業系の担当について報告
- ④ 川崎市自立支援協議会運営会議の報告

第5回 8月 7日(火) 13:30~16:30 多摩区役所

- ① 各部会の報告
- ② 当事者募集係より今後の流れについて報告
- ③ 川崎市自立支援協議会運営会議の報告

第6回 9月 4日(火) 13:30~16:30 多摩区役所

- ① 各部会の報告
- ② 研修についての話し合い
- ③ 川崎市自立支援協議会運営会議の報告

第7回 10月 2日(火) 13:30~16:30 多摩区役所

- ① 各部会の報告
- ② 作業系の報告

・たまふれあい祭り、多摩ネット、パサージュ多摩

第8回 11月 6日(火) 13:30~16:30 多摩区役所

- ① 各部会の報告
- ② 作業系の報告

・多摩ネット、当事者募集

- ③ 川崎市自立支援協議会運営会議の報告

・相談支援部会、子ども部会について

第9回 12月 4日(火) 13:30~16:30 KFJ 多摩

- ① 各部会の報告
- ② 当事者募集係より報告

第10回 1月 4日(火) 13:30~16:30 多摩区役所

- ① 各部会の報告
- ② 来年度の作業係について
- ③ 川崎市自立支援協議会運営会議の報告
 - ・相談支援部会、子ども部会について

第11回 2月 5日(火) 13:30~16:30 多摩区役所

- ① 各部会の報告
- ② 来年度自立支援協議会についてグループ討論
- ③ 当事者部会について

第12回 3月 5日(火) 13:30~16:30 多摩区役所

- ① 各部会報告 次年度の取り組みについて
- ② 次年度の開催について
 - ・開催の仕方について
 - ・当事者部会について
- ③ 川崎市自立支援協議会運営会議の報告

<今年度のその他の活動>

① パサージュ多摩への参加

- ・毎月1回、多摩区役所内アトリウムにおいて障害者福祉施設、団体が製品販売活動等を行っていますが、協議会でも広報を目的とした掲示物を毎回貼りだしました。

② たまふれあいまつりへの参加

- ・毎年6月に多摩区役所内で開催される当イベントにおいて、パサージュ多摩と同様、広報を目的とした掲示物や配布物を設置しました。

③ 広報誌「たまねっと」の発行

- ・毎年1~2回、区民に向けた広報を町会の回覧板を通じて行いました。今年は「災害」を主たるテーマに紙面を作成しました。

④ 当事者構成員の募集

- ・当事者募集の周期が2年ごとのため、今年度当事者・家族を公募し、今年度の当事者構成員が全員継続参加を決めた上、3名の当事者の方と1名の家族が来年度から新たに参加をすることになりました。併せて、現在参加している当事者構成員から、当事者だけで話し合いをしたい、との要望により、当事者部会も検討しています。

＜具体的な取り組み内容＞

・全体会議

各部会の月ごとの活動報告を行いました。部会以外の構成員から意見を出し合い、取り組み内容を修正したり、加えたりすることで、部会がより一層テーマを深められるような場としました。

市自立支援協議会の取り組みの報告や、協議会運営に関するテーマを議論し決定するなど、区自立支援協議会の最高決議機関としての役割を担いました。

・課題整理部会

今年度はこれまでの課題整理表の中でも多く挙げられていた、グループホーム・ケアホームに関する課題をテーマとし、同様の課題を持つ麻生区と共同で実態調査を、両区内全グループホーム・ケアホームの入居者・世話人および管理者に対して実施しました。両協議会構成員による直接の聞き取りであったこともあり、ほとんどの方に協力を得ることができ、高い回答率でした。3月末でほぼすべての解答用紙が揃えることが出来ました。

・日中活動部会

軽度知的障害者の余暇の過ごし方については「どのように過ごしてよいのか分からない」「一緒に遊びに行く友人が少ない」等の声があることから、昨年度末に引き続き、交流の場（みんなで交流会）の開催を5回行いました。1回につきおよそ10名の方の参加がありました。当初は緊張している様子であった参加者も、グループワークやゲームを通じて少しずつ会話ができるようになってきました。また、参加対象者については途中から「区内在住・在勤者」「障害種別」の項目を外し、多くの方が参加できる様配慮しました。

その他、日中活動に参加していない障害を持つ方、または現在所属している日中活動施設とのミスマッチがある方に、どのようなニーズがあるのか、相談支援事業者や区役所のケースワーカーを対象に簡単なアンケートを行いました。

・ライフサイクル部会

前半では児童期～成人期への課題として市自立支援協議会こども部会でも取り組んでいる「サポートノート」について、多摩区でも検証を行いました。千葉県君津市などを訪問し、そこで使用しているノートを検証し、こども部会への提案を行いました。

後半では児童相談支援における課題を検討しています。その中で、児童の支援を行っている事業所のネットワークが十分でないこと、成人への移行期に16時以降のサービスが極端に不足する「16時問題」が改めて確認されました。

・災害対策部会

昨年度作成した「災害時おたすけカード」の、その後の使用状況を確認する追跡調査を行いました。その中で、昨年度区内の各事業所に配布したものの十分な活用に至っていないこと、紙質等の耐久性に改善の余地があること（カードを評価していただいたうえで施設独自で改善してくれたところもありました）、等から、普及に際してより検討すべき点があることが分かりました。また、普及に際しては、区だけではなく市と一体になって

取り組む必要性も見えてきました。

共助の視点に際しては、区内自治体の取り組みを調べ、防災キットを活用した要支援家庭の把握など、貴重な実例を知ることが出来ました。

区自立支援協議会として、市や区での災害対策への取り組みや制度の知識が必要と感じたことから、区の担当者をお招きして勉強会を実施しました。

・就労部会

昨年度この件で課題整理部会が検討した結果、雇用者と求職者とのジョブマッチに課題があるのではないかと推測に従い、新たに設置しました。部会では、これまでの課題整理表での課題や、昨年度検討されたことに対して、その精査、及び実際の支援例からこれらの検討を行っており、一定期間後にまとめ、検討結果を出すこととしています。

<次年度はこんなことします！…あるいはこんなことしたいな～>

- ① 「協議会の原点は個別のニーズから」という原点に立ち返り課題検討を全体会議の中に取り入れます。
- ② 「当事者同士で話し合いたい」という当事者からの声に応え、これまで通りの参加形態を維持しつつ、新たに「当事者部会」の設置を行います。
- ③ 各部会においては、それぞれに挙がっている課題の解決に向け、より一層の推進をしていきます。

麻生区障害者地域自立支援協議会

〈麻生区について（平成24年12月末現在）〉

人口		172,439人	
障害者手帳の取得者数	：	身体障害者手帳	3,730人
		療育手帳（判定のみの方は含まず）	803人
		精神保健福祉手帳	916人

〈麻生区自立支援協議会の特徴〉

① 麻生区自立支援協議会の構成員について

相談支援事業所（4ヶ所）と保健福祉センターを中心に、障害福祉サービス提供事業所、就労支援機関、教育機関、障害者（児）の専門機関、区社会福祉協議会、地域包括支援センター、当事者からの参画も頂き、運営をしています。

② 麻生区自立支援協議会の実施状況について

運営会議（月1回）と全体会議（月1回）を実施しています。

運営会議では、相談支援事業所、保健福祉センターや専門機関が集まり、全体会議で行う内容や部会・係の取組について確認を行っています。全体会議では、テーマごとに分かれ、部会や係として協議を進めています。また、参画機関から麻生区で暮らしている当事者の方の生活のしづらさについて事例の提供を受け、解決・改善するための方策を構成員で検討・共有し当事者の生活（支援）に繋げています。

〈今年度の目標と方向性〉

今年度、重点的に取り組むテーマは、麻生区の福祉ニーズについて、障害の各分野から事例検討を行い、麻生区の地域福祉の課題を整理していくことです。また、部会や係の充実を図り、障害者（児）の支援を進めていきます。

そこで、児童部会、当事者参加を考える部会、グループホーム・ケアホームのあり方部会、広報啓発係、課題整理係を設けて障害者（児）が麻生区で安心して暮らしていくための相談体制や支援の連携を図っていきます。

〈今年度の区全体会議と部会系の活動について〉

第1回 4月18日（水曜日） 14:00～16:00 福祉パルあさおにて

◎各事業所の担当者自己紹介 各事業所紹介

◎今年度の麻生区自立支援協議会の目標・年度計画について確認

◎部会・係の役割分担

（児童部会 当事者参加を考える部会 グループホーム・ケアホームのあり方検討部会
広報啓発係 課題整理係）

第2回 5月16日（水曜日） 13:30～16:00 麻生区役所にて

◎各事業所から近況報告

◎事務局会議報告

◎6月の事例概要について確認

◎部会・係協議（協議後 参加者全員で協議内容の共有）

第3回 6月20日(水曜日) 13:30~16:00 麻生区役所にて

- ◎各事業所からの近況報告
- ◎市自立支援協議会運営会議報告
- ◎事例検討 区CWより事例報告(世帯として生活に支援が必要なケース)
- ◎部会・係進捗報告(参加者全員で協議内容の共有)

第4回 7月18日(水曜日) 13:30~16:00 麻生区役所にて

- ◎各事業所からの近況報告
- ◎事務局会議報告
- ◎部会・係協議(協議後 参加者全員で協議内容の共有)

第5回 8月15日(水曜日) 13:30~16:00 麻生区役所にて

- ◎各事業所からの近況報告
- ◎事務局会議報告
- ◎部会・係協議(協議後 参加者全員で協議内容の共有)

第6回 9月19日(水曜日) 13:30~16:00 麻生区役所にて

- ◎各事業所からの近況報告
- ◎事務局会議報告
- ◎部会・係進捗報告(参加者全員で協議内容の共有)

◎事例検討

通所事業所より事例報告(将来不安や人づきあいで悩み生活が崩れてしまうケース2事例)

第7回 10月17日(水曜日) 13:30~16:00 麻生区役所にて

- ◎各事業所からの近況報告
- ◎事務局会議報告
- ◎部会・係協議(協議後 参加者全員で協議内容の共有)

第8回 11月21日(水曜日) 13:30~16:00 麻生区役所にて

- ◎各事業所からの近況報告
- ◎事務局会議・第2回市運営会議・第2回市連絡会議報告
- ◎平成25年度以降の自立支援協議会のあり方に関する意見交換を実施
- ◎部会・係進捗報告(参加者全員で協議内容の共有)

第9回 12月19日(水曜日) 13:30~16:00 麻生区役所にて

- ◎各事業所からの近況報告
- ◎事務局会議報告
- ◎事例検討
- 基幹型相談支援センターより事例報告(金銭管理に課題を抱えているケースについて)

第10回 1月16日(水曜日) 13:30~16:00 麻生区役所にて

- ◎今回より公募にて決定した当事者4名の方が初参加
- ◎各事業所からの近況報告
- ◎事務局会議報告
- ◎部会・係協議(年度のまとめとして、振り返りと課題について協議)

第11回 2月20日(水曜日) 13:30~16:00 麻生区役所にて

- ◎各事業所からの近況報告
- ◎次年度の区協議会取り組み内容について協議

検討内容:開催日や開催方法について。事例検討について等。

〈部会・係取組報告〉

◎児童部会

ライフステージに沿った医療・療育・教育・福祉において支援者側にとって有効な支援ツールとしてのフローチャートを作成しました。また、児童期の相談支援についても具体的な協議を進めました。

◎当事者参加を考える部会

麻生区では平成 22 年から当事者が自立支援協議会に参加していました。平成 23 年からはより多くの当事者に参加していただくため「当事者参加を考える部会」を立ち上げ、準備してきました。そして平成 25 年 1 月から新しく 4 名の当事者の参加が始まりました。日ごろ感じている困りごとや、思い、希望を自分たちの声として協議会に届け、地域の課題として一緒に考えて行く場をつくっていきたいと思います。

◎課題整理係

今年度は、平成 23 年度の課題提出を受けていた GH・CH で生活している当事者の暮らしづらさに関する課題について、同様の課題が上がっていた多摩区と協働し具体的な協議を行ってきました。支援者側から感じている課題ではなく、生活実態として、何が暮らしづらさにつながっているのかを、把握していくために具体的な生活実態調査を地域の利用者、運営法人の協力を得て実施しました。次年度以降、この調査結果を踏まえ、利用者の暮らしやすさと暮らしづらさを明らかにし、暮らしづらさにつながっている課題の解決・改善の協議につなげていく予定です。

◎広報啓発係

- ・各地区民生委員児童委員協議会へ PR を実施した。
- ・広報誌を年 2 回発行した。
- ・区協議会マスコットキャラクター「エール君」が決まる。
- ・参画事業所紹介小冊子を作成。
- ・区社協広報誌「ほほえみ」への紙面掲載。
- ・社協ホームページへの記事掲載。
- ・あさお福祉まつりへ参加し、相談コーナーの開設と広報誌の配布。



〈次年度の活動について〉

今年度は平成 23 年度の成果と課題に基づいた部会・係構成を整え、活動を行ってきました。

全体として得られた成果には、①公募による当事者参加の実現 ②地域の社会資源へ自立支援協議会の活動を広く知ってもらうためのアウトリーチ活動を実施し、実際に相談につながる等がありました。次年度は、今年度の活動成果や課題を踏まえつつ、当事者の方々と協働しながら、具体的な取組みを計画していきます。

すぐには解決や解消することが難しいこともあるかと思いますが、なによりも、当事者の方やその家族と暮らしを一緒に考えていく場を意識して次年度は活動を行っていく予定です。

「あ」 たたかい 「さ」 さえあい 「お」 つきあい

文責： 障害者生活支援センター柿生
相談支援専門員 野原 篤

※順不同

1	障害者生活支援センター柿生
2	百合丘地域生活支援センターゆりあす
3	しんゆり生活支援センター
4	ソレイユ川崎相談支援事業所
5	百合丘障害者センター
6	北部地域療育センター
7	県立麻生養護学校
8	麻生区社会福祉協議会
9	ひびき工房ペリ
10	ひだまり工房
11	2にん3きゃく
12	があでん・ららら ハーブカフェ・ららら
13	障害児音楽コミュニケーション「YouYou クラブ」 片平タイムケアセンター
14	川崎授産学園
15	川崎市柿生学園
16	虹の里地域包括支援センター
17	百合丘日中活動センター
18	かわさきさくら児童家庭支援センター
19	アルデンテ
20	朗読ボランティアグループ さんざし
21	当事者の方 4名
25	麻生区保健福祉センター（事務局）